

住民説明会でいただいたご質問

令和7年6月23日（月）に美和ふれあいセンターで開催した住民説明会でいただいたご質問とその回答を公表します（この文章については、読みやすいように整理し作成しています）。

ご質問	回答
1 MWの風力発電機の型式認証はいつ頃取得できるのか。	来年の春から風力発電設備の着工を進め、その後に型式試験を行い、2026年度中には認証を取得したいと考えています。
風力発電だけで町内の電力を賄えるのか（脱炭素先行地域の計画として）。	風力発電事業だけでは不足することから、太陽光発電等も含め、他の再生可能エネルギー由来の発電事業で賄いたいと考えています。
現在、他社の電気を購入しているが、株式会社ハチャムがこれから売電する電気はそれよりも安くなるのか。	株式会社ハチャムとしては、他社よりも数パーセントでも安価な電力供給を目指していくと考えていますが、電気料金があまり変わらない場合も契約切り替えをしていただけるよう、特典の付与なども検討しています。 最終的に契約の切り替えはお客様の判断になりますが、これから営業活動等行っていきたいと考えています。
1 MWの風力発電機 1 基あたりの建設費はどれくらいかかるのか。	現在設計など進めているところで、数千万円単位ではなく億単位の建設コストになります。
1 MWの風力発電機の設置に要する期間はどれくらいか。	300kWの風力発電機の実績から、基礎工事は1か月～1.5か月程度と考えています。建設は300kWで1週間程度であり、1 MWの風力発電機では1か月を想定しています。建設後の試運転調整は風況にもよりますが1か月～2か月を想定しています。
300kWと1 MWの風力発電機の仕様の違いは。	ハブの高さは300kWで41.5m、1 MWで60mとなっており、ブレードの長さは300kWで16.5m、1 MWで32.5m、基礎は300kWで10m、1 MWで14.5mです。厚さはどちらの場合も2m～3mとなっています。
江差町にある風力発電機の規模は。	江差町の水堀町に事務所のあるユーラス江差ウィンドファームさんの風力発電機は1基当たり2 MWとなっています。
風力発電機の稼働時期は。	株式会社ハチャムの1 MWの風力発電機は令和11年度に導入を計画しており、導入後、北電の系統接続を行い運用開始となる見込みです。
今後、株式会社駒井ハルテックや株式会社ハチャムが風力発電機を建設する際などに改めて説明会は開催するのか。	建設のご報告やご説明は行いたいと考えています。また、町内会から要望等あれば開催の検討をしたいと考えています。